

TOKIWA



駐屯地盆踊り



駐屯地司令交代

第四代 第十即応機動連隊長

兼 第三十五代 滝川駐屯司令

一等陸佐 小林 邦之

主要経歴

平成10年4月	入 隊	
平成11年3月	第1戦車群第302戦車中隊	(北恵庭)
平成17年3月	富士学校機甲科部 教育課訓練教官	(富 士)
平成18年8月	第1戦車大隊第1戦車中隊長	(駒 門)
平成20年8月	幹部学校付	(目 黒)
平成22年8月	第2師団司令部第3部防衛班長	(旭 川)
平成24年8月	陸上幕僚監部教育訓練部 教育訓練計画課制度班	(市ヶ谷)
平成27年8月	第1偵察隊長	(練 馬)
平成28年8月	陸上幕僚監部監理部総務課企画班	(市ヶ谷)
平成30年3月	教育訓練研究本部教育部教官	(目 黒)
平成30年8月	教育訓練研究本部付	(目 黒)
令和 元年8月	教育訓練研究本部 研究部研究員	(目 黒)
令和 3年3月	第7師団司令部第3部長	(東千歳)
令和 5年3月	富士学校 主任教官	(富 士)
令和 6年8月	現職務	(滝 川)



駐屯地司令要望事項

「明るく楽しく前向きに」
「郷土共生」

連隊長要望事項

「積極果敢たれ」
「優しくあれ」

着任の辞

第十即応機動連隊の諸官の逞しい姿を前にし、連隊長として身が引き締まる思いである。諸官もニュースなどで承知していると思うが、我が国を取り巻く環境は厳しいものがある。また、災害はいつ発生してもおかしくない状況であることから、自衛隊に対する国民の期待は非常に高い。即応機動連隊はその名の通り、卓越した即応性と機動力を発揮し、各職種の大員を結集し、あらゆる事態において任務を遂行することが求められる。このことから、着任にあたり、諸官に次の二点を要望する。

一点目は、「積極果敢たれ」である。我が国を攻撃しようとする敵は、あらゆる手段を駆使してくるであろう。このため、旅団の魁となる連隊は、常に進化を追い求め、敵に対して主动性を発揮して如何に優位な戦いをするか、積極果敢に様々なことに挑戦せねばならない。様々なことに好奇心を持って取り組み、失敗を恐れずやり遂げていってほしい。そして着実に実力と自信を身に付け、より高みを目指していくチャレンジ精神を発揮してほしい。

二点目は、「優しくあれ」である。自衛隊は強くあらねばならない。強くあるためには、個々の強さはもとより、各個人の強さを結集することが必要である。各職種の隊員からなる連隊という組織が、有効に機能して任務を完遂するためには、職種の垣根を越えて隊員相互の理解と意思疎通、部隊としての団結がなければ果たされない。このためには、それぞれの立場を慮り、思いやることができる「優しさ」を皆が持つことが必要である。ただし、馴れ合いのような「優しさ」ではなく、人間としての根源的な、強さの裏返しとしての「優しさ」を追求してほしい。

また、組織の中だけでなく、一社会人としての人間性の修養という観点も含め、万事あたってほしい。

以上、二点を要望するが、諸職種からなる当連隊は個性の塊である。連隊長として、諸先輩の積み上げた伝統を継承しつつ、皆の個性を結集し、一蓮托生、一丸となって積極果敢に任務遂行に邁進していく所存である。皆、己の職責を果たすべく心を燃やせよらしく頼む。

令和6年8月2日(金)

機械化部隊戦闘訓練

A C - T E S C



連隊は、第7師団が担任・実施したA C - T E S Cに初参加し、密接な諸職種協同により敵部隊の攻撃を破砕し、任務を完遂しました。この際、A C - T E S Cの基盤を活用して機動戦闘車中隊の訓練検閲を実施し、受閲部隊の能力を評価・判定し、その進歩向上を図りました。



第1次旅団演習

連隊は、令和6年度第1次旅団演習に対抗部隊等として、「分散・連携した攻撃」における連隊の行動について演練し、じ後の練成訓練の資とするとともに、旅団統裁部に対し所要の人員・装備を差し出し、円滑な統裁に寄与しました。





旅団至近距離射撃競技会

連隊は、7月23日、北海道大演習場有明地区において行われた、令和6年度旅団至近距離射撃競技会に参加しました。6個子一ム（各中隊1個子一ム）が参加し、連隊一丸となって「連隊の部優勝」を獲得し、6連覇を成し遂げました。



6連覇達成

距離射撃競技会



駐屯地盆踊り大会

駐屯地は、盆踊り大会を実施して、隊員家族及び地域の皆様との交流を深めました。盆踊り大会では、子供・仮装盆踊り、自衛隊車両によるデコトラ及び花火等、滝川駐屯地でしか体験することが出来ない夏の夜を楽しんでいただきました。



転出者の紹介

北部方面総監部（札幌）へ

3佐 今井 真司（連本）

第4普連隊（帯広）へ

3佐 本宮 大志（連本）

第14普連隊（金沢）へ

1尉 辻 重利（連本）

滝川駐屯地業務隊（滝川）へ

曹長 吉田 光行（本管中）

木更津駐業務隊（木更津）へ

曹長 田中 光司（本管中）

滝川駐屯地業務隊（滝川）へ

2曹 島田 尚紀（本管中）

中部方面総監部付（伊丹）へ

2曹 古濱 恭兵（本管中）

留萌駐屯地業務隊（留萌）へ

2曹 清水 雅寛（本管中）

第43普連隊（都城）へ

2曹 瀬戸山知耶（本管中）

防衛大学校（横須賀）へ

2曹 田中 涼真（本管中）

中央即応連隊（宇都宮）へ

3曹 下出 勇太（本管中）

第22即機連隊（多賀城）へ

2曹 阿部 純平（1普中）

第12普連隊（国分）へ

3曹 上園 悠也（1普中）

第39普連隊（弘前）へ

2曹 八木橋貴広（2普中）

第36普連隊（伊丹）へ

3曹 水地 拓也（2普中）

第15即機連隊（善通寺）へ

3曹 倉田 芳幸（2普中）

第22即機連隊（多賀城）へ

3曹 齋 隼太（2普中）

第13普連隊（松本）へ

3曹 喜納 勇武（2普中）

第32普連隊（大宮）へ

3曹 南 亮平（3普中）

第22即機連隊（多賀城）へ

3曹 吉山 知磨（3普中）

第22即機連隊（多賀城）へ

3曹 後藤 竜治（3普中）

真駒内駐屯地業務隊（真駒内）へ

曹長 寺尾 栄治（火支中）

第22即機連隊（多賀城）へ

3曹 及川 裕嗣（火支中）

東部方面特科連隊（北富士）へ

3曹 池田 高紀（火支中）

東北方面特科連隊（岩手）へ

3曹 東郷 海斗（火支中）

第11後方支援隊（真駒内）へ

2曹 清水伸市郎（業務隊）

第11後支即直中（真駒内）へ

2曹 石井 健太（直支中）

滝川駐屯地業務隊（滝川）へ

2曹 小林 大剛（直支中）

第443会計隊（奄美）へ

3曹 香田 竜彦（会計隊）

転入者の紹介

連隊本部 第1科長へ

3佐 渡辺 匡人（北方総監部）

連隊本部 第4科長へ

3佐 門脇 誠（北方付隊）

連隊本部 第2科長へ

1尉 片山 雄大（第14普連）

本部管理中隊へ

准尉 嶋田 啓司（第1曹教）

2曹 吉田 佳明（第25普連）

2曹 小原 豊和（第5普連）

3曹 加藤 帝基（第44普連）

第1普通科中隊へ

1曹 中原 年一（滝川業務隊）

第2普通科中隊へ

1曹 直井 春時（第38普連）

2曹 鈴木 寿治（第44普連）

3曹 大留 涼（第4普連）

機動戦闘車中隊へ

2曹 大河原陵祐（第3即機連）

火力支援中隊へ

2曹 千葉 寛之（第22即機連）

3曹 鈴木 将平（第22即機連）

3曹 根本 洋輝（東北特連）

滝川駐屯地業務隊へ

2尉 若林 泰生（第2戦車連隊）

曹長 吉田 光行（第10即機連）

1曹 渡邊 勲二（中央即応連隊）

2曹 小林 大剛（第11後支隊）

部内異動

連隊本部 第3科へ

2尉 半澤 純平（火支中）

連隊本部 第2科へ

3尉 山岡 隆太（3普中）

火力支援中隊へ

2尉 渡辺 義郎（連本）

昇任者の紹介

1等陸尉へ

橋本 琢磨（会計隊）

2等陸尉へ

高地 真広（本管中）

石橋 晃志（3普中）

土岐 佳広（機戦中）

3等陸尉へ

片川 孝幸（1普中）

石川 竜希（2普中）

陸曹長へ

谷内 悟（本管中）

中塚 一揮（2普中）

1等陸曹へ

宮川 純（本管中）

品川 隼（本管中）

芳賀 淳希（本管中）

柴田 将吾（本管中）

占部 保典（1普中）

松山 将洋（1普中）

山田 耕平（3普中）

2等陸曹へ

木谷 拓麻（本管中）

金井 将斗（本管中）

石部 竜太（本管中）

高田 勇（2普中）

菊地 亮兵（2普中）

岡山 遥平（3普中）

久保田一騎（3普中）

高橋 翔（機戦中）

滝吉 健吾（機戦中）

角田悠太郎（火支中）

3等陸曹へ

吾孫子里奈（本管中）

今野 晴人（本管中）

三井 拓海（本管中）

阿部 葵（本管中）

芝軒虎太郎（本管中）

高橋 蓮（1普中）

朝井 太子（1普中）

平山 優太（2普中）

下平 望（2普中）

尾嶋 誠（3普中）

大谷 竜太（3普中）

森久保和摩（機戦中）

宮崎 嶺士（火支中）

根本 優聖（火支中）

月岡 洸介（火支中）